

BBLセミナー プレゼンテーション資料

2014年10月9日

「地球規模課題に関する我が国における
マルチステークホルダーによる『公論』の必要性
ーポストMDGs(SDGs)を視野に入れて」

山田 太雲

Breaking the Barriers:
ポスト2015時代における
我が国の国際的リーダーシップ促進のための
マルチステークホルダー間『公論』のススメ

2014年10月9日

(特活)オックスファム・ジャパン

山田太雲



OXFAM
Japan

お話する内容

1. 自己紹介
2. ミレニアム開発目標(MDGs): 貧困削減を目指す史上初の世界的プロジェクト
3. ポスト2015開発アジェンダ: 大幅な資源節約と再分配の両立へ
4. 2016年以降の世界を見据えて: マルチステークホルダー間の『公論』のススメ

オックスファムとは？

- Oxfam
 - Oxford Committee for Famine Relief
 - 1942年、イギリス・オックスフォードにて発足
- 17の人道・開発支援NGOによる国際連合体
(国際事務局：英オックスフォード)、90カ国以上で活動
- 緊急人道支援、長期開発支援、アドボカシー/キャンペーン
- オックスファム・ジャパンは2003年設立



自己紹介

- オックスファム・ジャパン アドボカシー・マネージャー
- 公的保健医療・教育制度の構築・強化。
- これを支える開発資金/政策/体制を提言
 - ODAの質/量改善(二国間、多国間)
 - 適切な政策潮流の創出(@世界銀行、IMF、G8/20等)
- 国内外の市民社会との連携
 - 「動く→動かす」運営委員、分野別NGOネットワーク幹事など
 - Oxfam Internationalの「格差と必須社会サービス」アドボカシー・キャンペーンの国際マネジメントグループ



ミレニアム開発目標（MDGs）：
貧困削減を目指す
史上初の世界的プロジェクト



OXFAM
Japan

国連ミレニアム開発目標(MDGs)



MDGs時代の進捗： 2000年からの大きな変化

8,000,000

抗エイズ薬にアクセスできるようになった人の数

75%減

サブサハラ・アフリカ8カ国での
マラリア死亡件数の変動

2,650,000

5歳未満乳幼児の死亡件数の年間減少割合
→7,256件/日

47,000,000

小学校に通えるようになった子どもの数



アフリカにおけるMDGsの進捗

MDGs	課題詳細	1990	現状
MDG1	1.25ドル/日以下で生きる人の割合	56%	47% (2008)
MDG2	初等教育に入学した人の割合（調整）	58%	76% (2010)
MDG3	男性を100としたときの女性の初等教育入学者の割合	85%	93% (2010)
MDG4	5歳以下の死亡率（1000人当たり）	174	121 (2010)
MDG5	妊産婦死亡率（10万人出生当たり）	850	500 (2010)
MDG6	HIV感染率	0.59% (2001)	0.41% (2010)
MDG7	改善された水資源を使っている人口割合	49%	61% (2010)

資料: UN MDGsレポート2012年度版



先進国政府
国際機関

ODAの国際約束を守って
薬の知的財産権ルールを緩和して

対応

要請

- ・ 援助不足
- ・ 援助を医師の給与に使えない
- ・ 医薬品特許が高すぎる

途上国政府

保健医療予算を増やして
保健医療従事者の育てて、雇って
医薬品の調達して

対応

要請

- ・ 病院、診療所がない！
- ・ 医師、看護師がいらない！
- ・ 薬がない！

現地

病気に苦しむ人々のケア、サポートなど
医師、看護師、助産師などの育成

なぜ、「MDGs的なもの」が必要だったのか

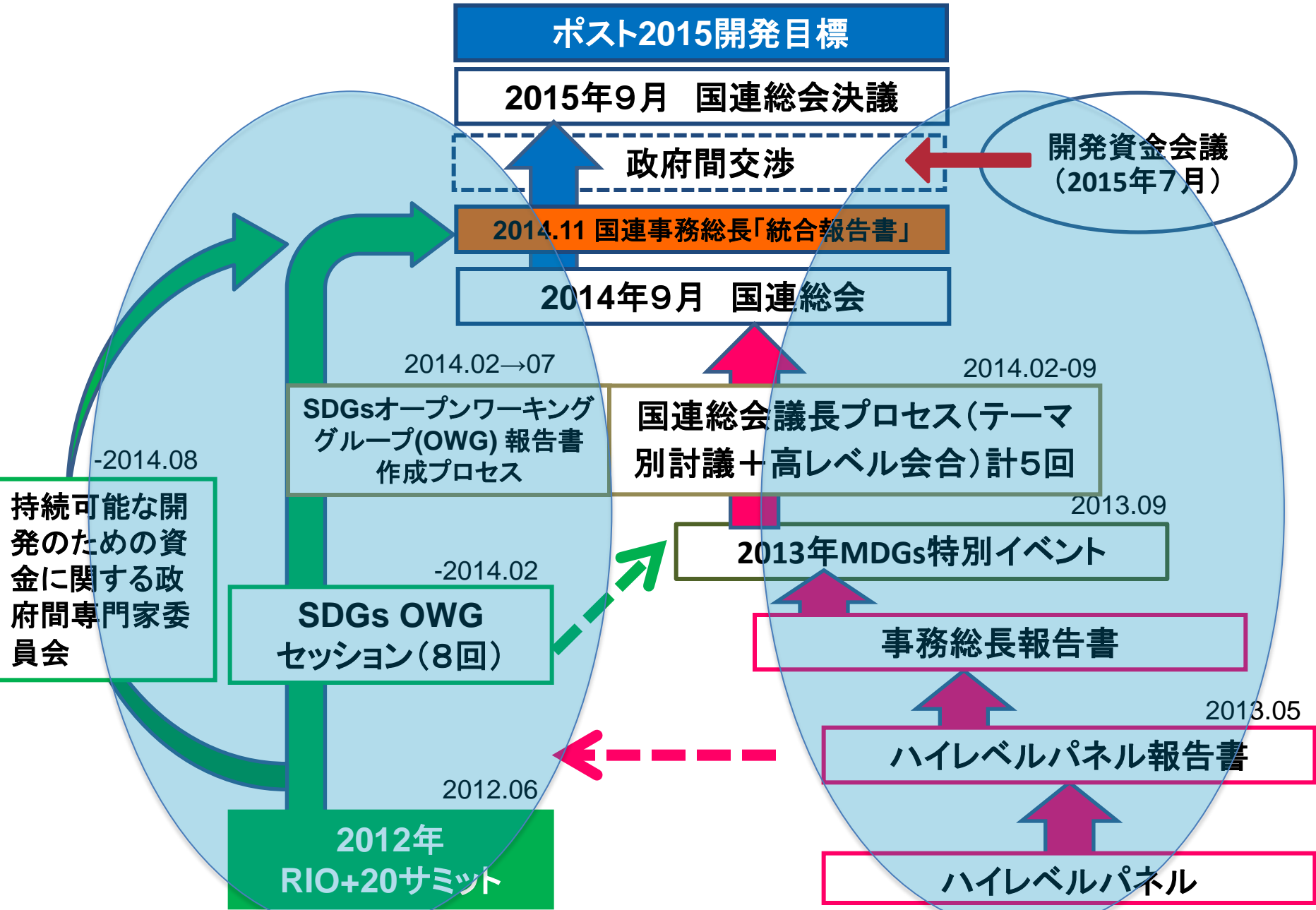
- **16世紀～20世紀**
植民地主義： 奴隷貿易、資源収奪、分断統治
- **第2次世界大戦後**
冷戦状況下の独立
残る植民地型経済・貿易関係
独裁にならざるを得ない状況。開発独裁と米国型共和制。
「大きな政府」
- **1970-80年代**
第一次産品の価格下落「第1次オイルショック」
→ 対外債務の累積
→ 債務危機
- **1980-90年代**
「構造調整」の時代：「小さな政府」、「公共サービス」切り詰め
同時に、「地球規模課題解決への地球規模協調」の機運
日本も一定の活躍

ポスト2015開発アジェンダ：
大幅な資源節約と再分配の両立へ
「南北問題」の国内化



OXFAM
Japan

ポスト2015開発アジェンダ策定プロセス



持続可能な開発目標オープン・ワーキング・グループ報告が掲げた目標案

- 1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 2 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- 3 すべての年齢の人々の健康な生活を確保し、福祉を推進する
- 4 すべての人々の包摂的で公平な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を推進する
- 5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
- 6 すべての人々に水と衛生施設へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 7 すべての人々に安価で信頼でき、持続可能で近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 8 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
- 9 レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な工業化を推進するとともに、イノベーションを促進する
- 10 国内と国家間の不平等を削減する
- 11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
- 12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 13 気候変動とその影響に取り組むため、緊急の措置を講じる
- 14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 15 陸上生態系を保護、回復し、その持続可能な利用を推進すること、また、森林を持続可能な形で管理し、砂漠化に取り組み、土地の劣化を食い止め、逆転させるとともに、生物多様性の損失に歯止めをかける
- 16 持続可能な開発に向けて安全で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

重要課題1. 未完の仕事

- 6100万人の子どもが学校に通えずにいる。半数以上が女の子。
(UNESCO, 2012)
- 毎日、800人の女性が妊娠・出産時の問題で命を落とす。
(WHO, 2012)
- 毎分、3人以上がエイズによる病気で亡くなる。
(UNAIDS, 2012)
- 毎分13人以上の5歳未満の子どもが亡くなっている。
(UNICEF, 2012)

⇒いかに最脆弱層に届けるか。

⇒強固でアカウンタブルな公的社会サービス制度が必要

重要課題2. 経済格差

- 米国：
最富裕層1%が国民総所得に占める割合： 10% (1980) から20%に拡大
- 中国：
最富裕層10%が国民総所得の60%を手
- 世界の最貧困層の2/3は中所得国に住む。



識者評論

毎年1月、世界中から政財界のリーダーが集い、世界経済の課題について議論する世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）。主要テーマの一つである「世界経済にとっての最大脅威としての所得格差」について世界中を震撼（しんかん）させた事実がある。

それは、貧困問題に取り組む非政府組織（NGO）のオックスファムが会議に合わせて発表した報告書が明らかにした統計で、世界の最富裕層85人の総資産額が、世界人口の半分に当たる所得下層35億人の総資産額に匹敵するというもの

世界の格差と貧困

オックスファム・ジャパン
アドボカシー・マネジャー
山田 太雲



「シャルメディアを通して、瞬く間に世界中に拡散し、人々の脳裏に焼き付いた。人為的なものであるとして国際通貨基金（IMF）のラガルド専務理事も3月3日の演説でこの数字を引用し、「極度の格差は」わ

われの社会を結び付けている貴重な土台を引き裂いた政策を導入させてきたと「さ」かねず、「極端にゆがんだ所得の分配は、長期にわたって成長のペースを遅くし、経済的格差を拡大し、貧困を悪化させている。また、多国籍企業や富裕

「85人＝35億人」許すな



山田 太雲
75年神奈川県出身。英国立セント・アンドリュース大卒（国際関係学修士）。2002年から現職。

格差が拡大した国に暮らしていることも指摘している。

「85人＝35億人」は、今日の格差社会を象徴する数字としてマスメディアやネット上で使われることが多い。

日本も例外ではない。上位1%の人の所得が日本人の所得全体に占める割合は、1980年には約7%が、企業経営者の所得は約20%に達している。

この状況は、オックスファムの報告書が示している通り、先進国の規制、政府の支出、分野の優先順位、年金の保障が、格差を拡大させている。

この不公平感に既に各国の市民も感じている。オックスファムが先進・新興6カ国で行った世論調査では、約6割の人々が、この状況を「許すな」と答えている。

経済成長は、人々の幸福のための手段であってはならず、経済成長を追求するあまりに政治の民主性や社会の公平性が犠牲（ぎげい）になり、格差が拡大している。



<http://www.imf.org/external/pubs/ft/survey/so/2014/res041214a.htm>



<http://laprincessaworld.blogspot.jp/2014/01/whats-in-store-for-africa-en-route-2050.html>

極端な経済格差：なぜ問題か？

1. 経済成長を阻害

- 一部の人だけがお金持ちに
一部の人ではすべてを消費できない→経済の停滞
- 格差の少ない国ほど、経済は活性化、貧困も減る

2. 社会を分断

- 「機会の不平等」(例：子どもの貧困)
- 階層間移動の現象 ⇒ 「世襲資本主義」

3. 環境を破壊

- 食料問題と気候変動の悪循環
- 米国の「1%」のCO2排出量は平均的米国人の1万倍
- 希少化する資源をめぐる紛争

4. 民主政治の機能不全

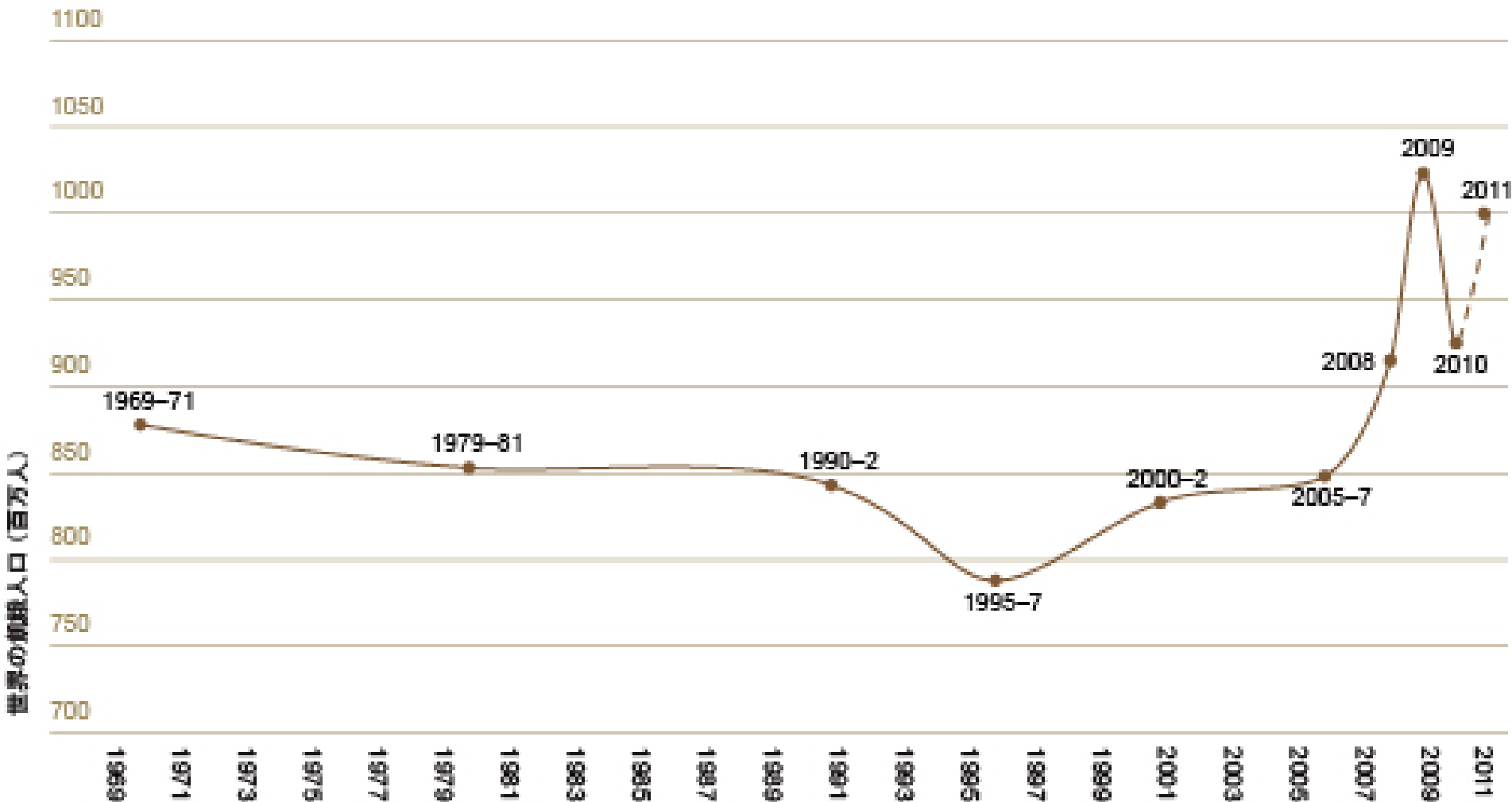
- 富裕層・巨大企業による政策決定の買収、歪曲

⇒ 「極度の貧困」だけでなく、「極度の富裕」「極度の格差」も問題。

⇒ 欧米を始め(日本は?)、先進国が直面する問題と

重要課題3. 飢餓と食料安全保障

世界の飢餓人口



飢餓の構造的要因

- 現在世界は、すべての人に十分な食料を生産している。
- しかし、世界人口70億人のうち、8.5億人(8人に一人)が飢餓に苦しむ。
- うち半数が農民。

食料需要は増えるのに

- 2050年、人口は90億人に。
- 新興国に広がる先進国的食生活(肉⇒水や穀物の大量消費)。

食料供給は減る

- 気候変動
- バイオ燃料

食料不安

- 価格上昇
- 土地を巡る争い

より少なく、より公平に

2010



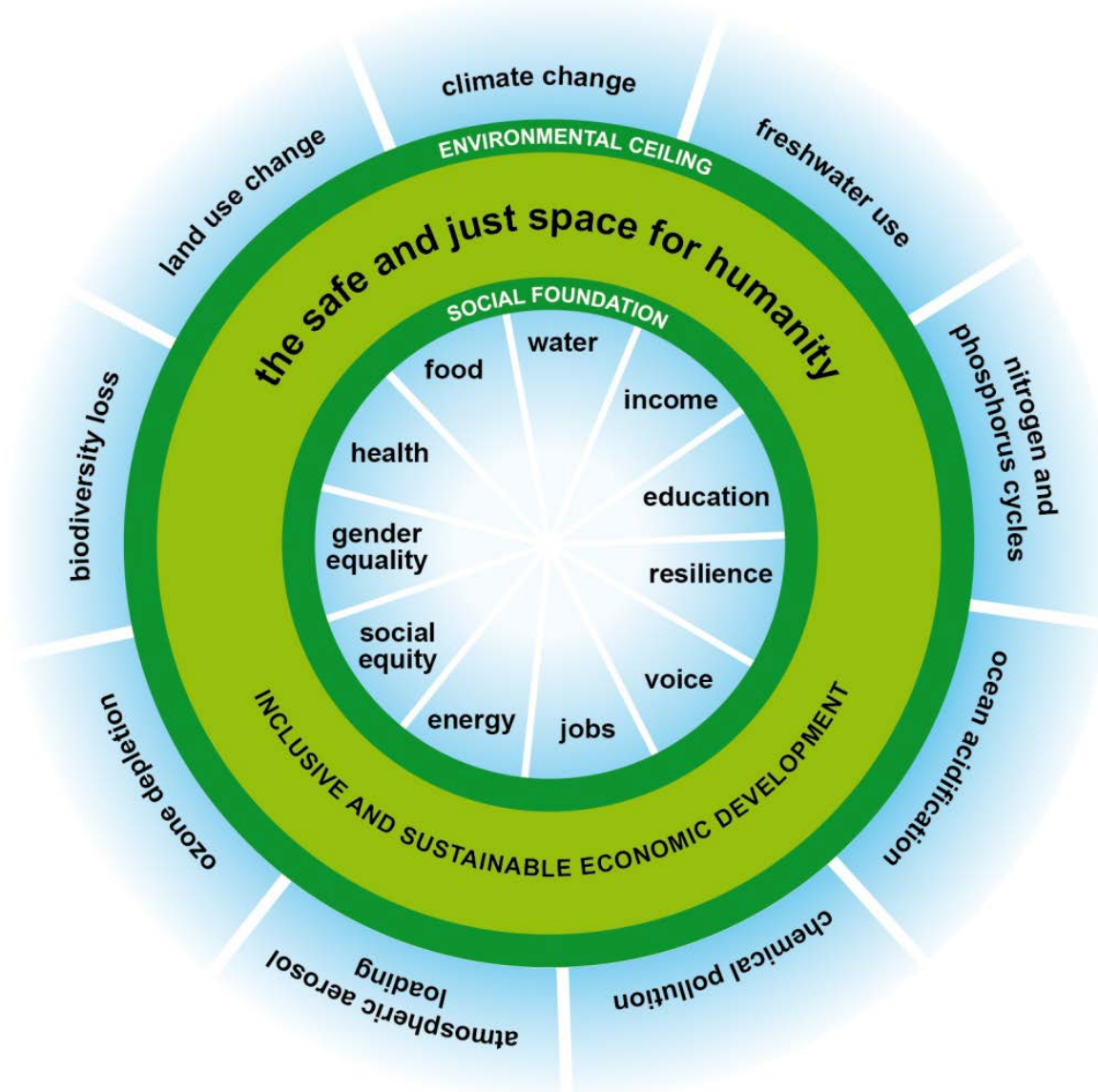
2050



● 地球環境の制約 ■ 資源利用による環境負荷 ■ 最貧層20%の資源配分

ポスト2015の根源的問いかけ

Can we live inside the doughnut?



2016年以降の世界を見据えて： マルチステークホルダー間の『公論』の ススメ

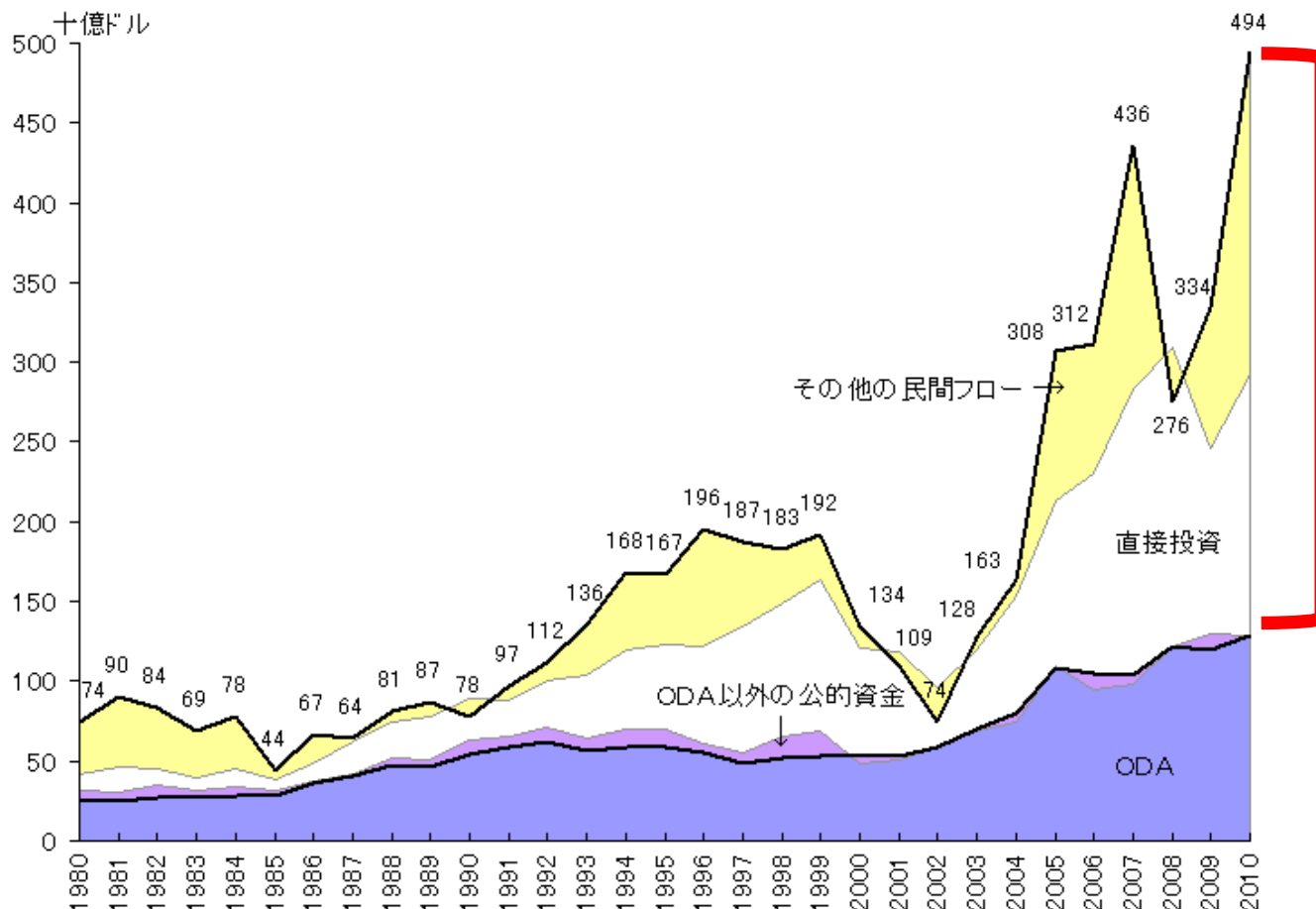


OXFAM

Japan

高まる民間セクターへの期待

途上国への資金フロー(ネット)



(注) OECD-DAC諸国からの途上国への資金フロー。民間資金フローは直接投資、証券貸付、民間輸出信用、NGO資金供与等からなる。90,01,02,08年の「その他民間フロー」はマイナスであり図では「直接投資」に食い込んでいる。00,01,03,04,06,07年の「ODA以外の公的資金」も同様にマイナスであり「ODA」に食い込んでいる。資金フロー計とODAの推移は太線で示した。

(資料) OECD.Stat (2012.4.8)

<http://www2.ttcn.ne.jp/~honkawa/0700.html>

ビジネスを通じた途上国開発への貢献： 企業にとってのメリット

資源への
アクセス

良質な
従業員確保

生産性の
向上

市場機会の
創造

社会的承認

途上国の貧困を考慮しないビジネスのデメリット

● 市場機会の喪失

- マラリアによるアフリカ大陸の経済損失： 120億ドル/年。マラリア撲滅でアフリカGDPは1.3%成長。(APP, 2010)
- 初等教育への投資利益率： 18.9%(Psacharopoulos & Patrinos, 2002)

● ビジネス環境の不安定化

- 格差拡大による社会の分断、政情不安

● レピュテーション・リスク

- 市民社会による批判
- 国内開発を重視する途上国政府からの批判

民間投資と貧困削減

経済成長の質

- 恩恵が貧困層に届くか
- 経済社会における権力関係の是正に資するか
- 労働集約型の成長、権利保護、包摂的市場＝良質な成長

投資の質

- 悪い投資：土地収奪、環境破壊、人権侵害、食料不安
- 良い投資： 長期リターン、コンサルテーション、権利保護
- 『ウィン=ウィン』投資の限界

市場における 力関係

- 有力層による利益独占
- 公正な競争
- 組織化



オックスファムの対企業関与

● ユニリーバ社との“Poverty Footprint”

- ユニリーバ・インドネシアの貧困へのインパクトの実態調査(マクロ経済への影響、社の方針と実践、サプライチェーンの問題分析、史上において引き起こされ得るインパクトの理解)
- 事前契約の下、共同出資
- 共同報告書
- UI社はSCMの改善、Oxfamは対企業理解を深める

● “Behind the Brands” キャンペーン

- 2012年2月発足
- 食品・飲料メーカー10社について、透明性、女性、労働者、農民、土地、水、気候変動の観点から、意識・知識・コミットメント・SCMを審査。スコアカードとして発表。
- 現在までに70万人強がアクションに参加
- 数社から改善コミットメントを引き出す：
コカ・コーラ／ペプシコ(土地利用権)、ゼネラル・ミルズ(気候変動)、ネスレ(土地)、ケロッグ(気候変動)、マーズ／ネスレ／モンデリーズ(女性農家)

- About
- Take Action
- Behind the brands**
- GROW Method
- Food and Climate Justice
- Videos
- Media center
- Policy & research

BEHIND THE BRANDS



Take Action About Brands Issues Company Scorecard Campaign News

Home > Brands

International (English)

SELECT A BRAND

Who owns the brands you love and how have they scored?

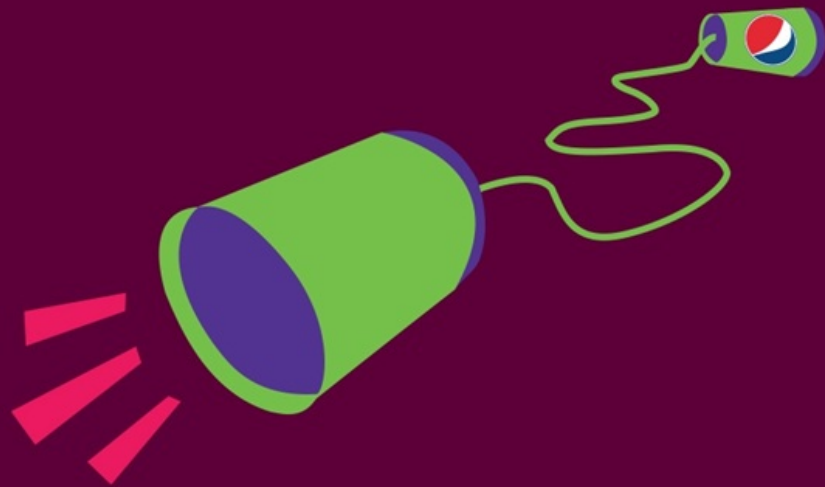


Freetags: General Mills | Associated British Foods (ABF) | Danone | Mars | Coca-Cola | Mondelez | Unilever | PepsiCo | Nestlé | Kellogg's | hunger | climate change | global warming | CFC emissions |

JOIN GROW

Get involved with GROW, we can keep you updated with new ways you can make a difference

Join now



**YOU SPOKE.
PEPSI LISTENED.**

behindthebrands.org



**YOU SPOKE UP
WITH FARMERS
LIKE ANGELA.**



OXFAM



LISTENED

日本のGood Practice

- リー・ジャパン／ハンガー・フリー・ワールド／ACEの3者連携
 - オーガニック・コットン・ジーンズの売上の2%をHFWの井戸建設事業に寄付
 - ACEを監査に迎え、生産現場における児童労働の有無確認
 - 安全・衛生面での問題を発見→改善
 - 生産地の住民含め、4者にとってwin-win
- トヨタ・南アの従業員向けHIV/AIDS対策(1993～)
 - 従業員向け「ウェルネス・プログラム」の一環として、エイズ教育、検査の奨励、家族を含めた会社負担の治療・ケア)
 - 目的：従業員の感染防止、既存従業員の維持
 - 日本では広く知られず
- 「日本企業は欧米ほどアグレッシブな節税はしない」
- 教訓・メッセージの普遍化とアドボカシーが期待される

国際場裏： 日本のプレゼンスは低い



COP18での日本政府記者会見上の様子 2012年12月@ドーハ ©共同

『MDGs期』の10年強、我が国は...


- ODA大綱は改訂(2003年)。しかし...
- MDGs-OSにフィットしない日本の「国際開発アプリ」
 - 予算削減 ⇔ MDG8
 - プロジェクト思考 ⇔ 政治変革
 - 「ちょっといい話」 ⇔ 先進国の責務と長期的利益
 - 「ODA≒環境破壊」 ⇔ ポジティブ・アジェンダ
 - 現場主義 ⇔ 国際会議
 - 二国間外交の競争 ⇔ 多国間協調
 - No Japanese, No Story ⇔ オーナーシップ
- 『開発アジェンダ』の台頭と波及への認識と対応が後手に
 - WTO交渉
 - G8
 - OECD DAC「援助効果」アジェンダ、政策一貫性等...


アフリカに「日本の野球」を根付かせたい 野球チームの指導に奮闘中 (2/5ページ目)

2009年9月1日  総合RSS  コメント (2件)

 ツイート

 B!

 いいね!

 あとで読む

 連載ウォッチ

やる気の見えない選手たちに意気消沈

かつて短期間ながらコーチ経験はあったが、予想していた通り、アフリカでの指導は経験をそのまま生かせるはずもない、全く違うものだった。

「渡航前にいろいろ想像してみたんです。時間通りに集まらないんだろうなぁ、グラウンド整備もしないんだろうなぁって。実際、練習は9時からだって言われていたのに、行っても誰もいないんです。僕は日本の感覚で1時間前に行って、グラウンドも荒れていたのので一人でグラウンド整備をして、ベースがないから地面に書いて準備して、待ってるんですけど、……来ないんですよ、9時半になっても。10時過ぎにやっとぼつぼつ来だして、キャッチボールを始めたりして」

まず指導を始めたのは、日曜日に青年の1チームだけだったが、時間通りに集まろう、話している時は相手の目を見よう……、野球を教える以前に、そんなコミュニケーションの基本から教えていくことになる。練習が始まってからも覇気がない、うまくいかないとすぐケンカする、楽しければ良い、という野球だった。

「いくら注意しても、『(時間通り)行くよ』と言うだけで、来ない。趣味でやってるだけと言えばそうだけど、そんな状態が何カ月も続いて。僕が教える必要はあるのか、それなら、なぜ僕はここにいるんだろう。夢を持って来たのに、もう諦めようかな、と思ったこともあります」

予約キャンペーン

インテル® Core™ i5 vPro™ プロ

こんにちは

・登録すると、より便利に使

マイページ >

ログ

連載ウォッチ

・使い方はこちらです

「あとで読む」リスト

・使い方はこちらです

アクセスランキング

- 1 「グーグルカレンダーカ
- 2 乗り移り人生相談：【1
- 3 【29】フェイスブックで
- 4 その場限りでないマナー
- 5 梶原しげる：【186】「
- 6 『クラウド「超」仕事法
- 7 乗り移り人生相談：【1
- 8 乗り移り人生相談
- 9 齋藤孝：直感からイノハ
- 10 活脳塾：偶然の出会いや

Soft power and curveballs

Published: 07 July, 2009

Japanese development assistance to Africa is on the rise, but the country's motivation for ODA disbursement is less clear

Tall, slim and balding slightly under his baseball cap, Hidehiro Shinkoui has a strange vision of what aid should look like. Standing under a tree in the yard of the Wamumu Rehabilitation Centre in central Kenya, he explains sheepishly, "my desire is spreading baseball all over the world." A native of Tokyo and former scorer in Japan's Central Baseball League, 31 year-old Mr Shinkoui could hardly have strayed further from his roots, but his pupils, all minor offenders below the age of 18, are willing pupils.



Mr Shinkoui is a Japanese Overseas Cooperation Volunteer, at the sharp end of Japan's international development programme. For some in the aid community, the motives for the country's development assistance, and its methods, are as baffling as this baseball evangelism.

In 2008 the Japanese government merged the Japanese International Cooperation Agency, an organisation focused on technical support and capacity building, with the Japanese Overseas Cooperation Bank. In doing so it created the world's largest bilateral development agency, with an annual budget of more than \$10bn. Jica's ODA contribution is unusual, as it comes with few strings attached, and while it does emphasise local ownership of its programmes, it avoids direct budgetary support.

Out on the baseball field, Yoshiyuki Takahashi, the game. Despite claiming to have barely touched the catcher and at bat. On the sidelines, his staff e

Sign Up

For the latest news and updates from

Thinking about
crossborder exp



我が国のリーダーシップを阻む要因

NGOの責任不履行？

● 欧米系NGO(一部)：

- 企業的な戦略
- 大きな財政基盤
- 豊富な人材と専門性
- Oxfam「英国文系学生の希望就職先第3位」(Universum, 2013)
- 社会運動にルーツを持ちつつ、他セクターに積極関与
⇒他セクターにとって、「怖く」「ありがたい」存在。アドボカシーへの積極的な投資

● 日本では？

- 「ボランティア」 or 「活動家」
メインストリームから外れた存在
- プロ系NGO＝事業系
- 事業系NGOの限定的な自己規定(事業 & 広報オンリー)
- アドボカシーへの低投資
- 公益を追求するセクターとして十分な責任を果たしているか？
「魚の採り方を教える」だけでよいのか？

我が国のリーダーシップを阻む要因

● 民間セクター

- 短期利益指向。そのような構造
- CSRに対する不十分な認識／戦略上の位置づけ
- 企業間競争、国際競争

● 政府

- 省内・省庁間の縦割り
- 公益に照らした省益間の調整・優先順位付け不足
- 偏狭な「国益」定義（国際益との対立）

● メディア

- オルタナティブ情報や視点を軽視（官製情報偏重）
- 「国際開発」担当部署の不在：ステレオタイプの再生産

持続可能なポスト2015期へ： 各セクターの役割

民間 セクター

- 富と雇用の創出。女性のエンパワメント
- 長期的ニーズを踏まえたイノベーション
- 社会的責任の履行（納税、労働権含む）
- アジェンダ解決への物質的モメンタムの創出

政府

- アジェンダ解決のための法・政策・制度整備
- 市場規制（罰則とインセンティブ）
- 公共財への投資： 人権、社会サービス/社会保障

市民社会 (NGO/NPO)

- 社会課題の発見、実践的対応
- 社会課題の政治アジェンダ化⇒政策提言
- 関係機関の「頂点への競争」の促進

セクター間の対話・連携なしに機能せず

ご清聴、ありがとうございました。

山田 太雲

takumo@oxfam.jp



OXFAM
Japan